

SERVICE BULLETIN



FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

JCAB APPROVED

NO. 200-007 DATE 61-8-8 (SUPERSEDES NO.)
REV. DATE (SUPERSEDES NO.)
REASON

1. 標 題 : 燃料セクタ・バルブのストッパ追加
2. 適用機体 : FA-200 シリーズの機体で製造番号#101 号機以降、及びサービス通信 FAS-032 実施の機体。
3. 適用度 : 指令事項
4. 目 的 : 燃料セクタ・バルブを使用禁止 (PROHIBITED) 位置にすると、左右燃料タンクが“通”状態になり、係留時、サイホン現象によって、ベント系統から燃料が流出した事例があったため、燃料セクタ・バルブが使用禁止位置になることを防止するためのストッパを取付ける。
5. 指 示 : このSB 受領後 6 項及び12 項に従って、燃料セクタ・バルブ・ハンドルのストッパを取付ける。
6. 実施時期 : この SB 受領後 50 飛行時間以内に実施する。
7. 航空局承認 : 航空局承認 (東61-013) 61 年 7 月 11 日
8. 所要部品 : 下記部品を無償支給する。

部 品 番 号	部 品 名 称	数 量
200-924217-3	STOP	2
MS35206-227	SCREW	2
AN960D6	WASHER	2

9. 特殊工具 : なし
10. 重量重心 : 変化なし
11. 準拠資料 : なし

AIRCRAFT DIVISION

1-11 YOUNAN 1 CHOME, UTSUNOMIYA TOCHIGI JAPAN 〒320
TEL 0286 (58) 1111 TELEX 3522 176

SERVICE BULLETIN 200-007

PAGE 1 OF 3

12. 作業手順： (1) FIG. 1 に従ってストッパ取付孔（2個所）を穿孔する。

注 意

危険防止のため、穿孔にはハンド・ドリル又はエア・ドリルを使用すること。

フランジは軟質アルミ合金（6061-0）製のため、穿孔は容易である。

穿孔によって生じた切粉が燃料セレクト・バルブの軸部に付着しないように注意すること。

- (2) 前項の孔を中心にフランジの内側のみ直径 12mm の寸度でフランジのゴムを除去する。

- (3) FIG. 1 に従ってストッパをスクリュで固定する。

13. その他： 改修を実施した場合は、有資格整備士の確認を受け航空日誌に記録する。

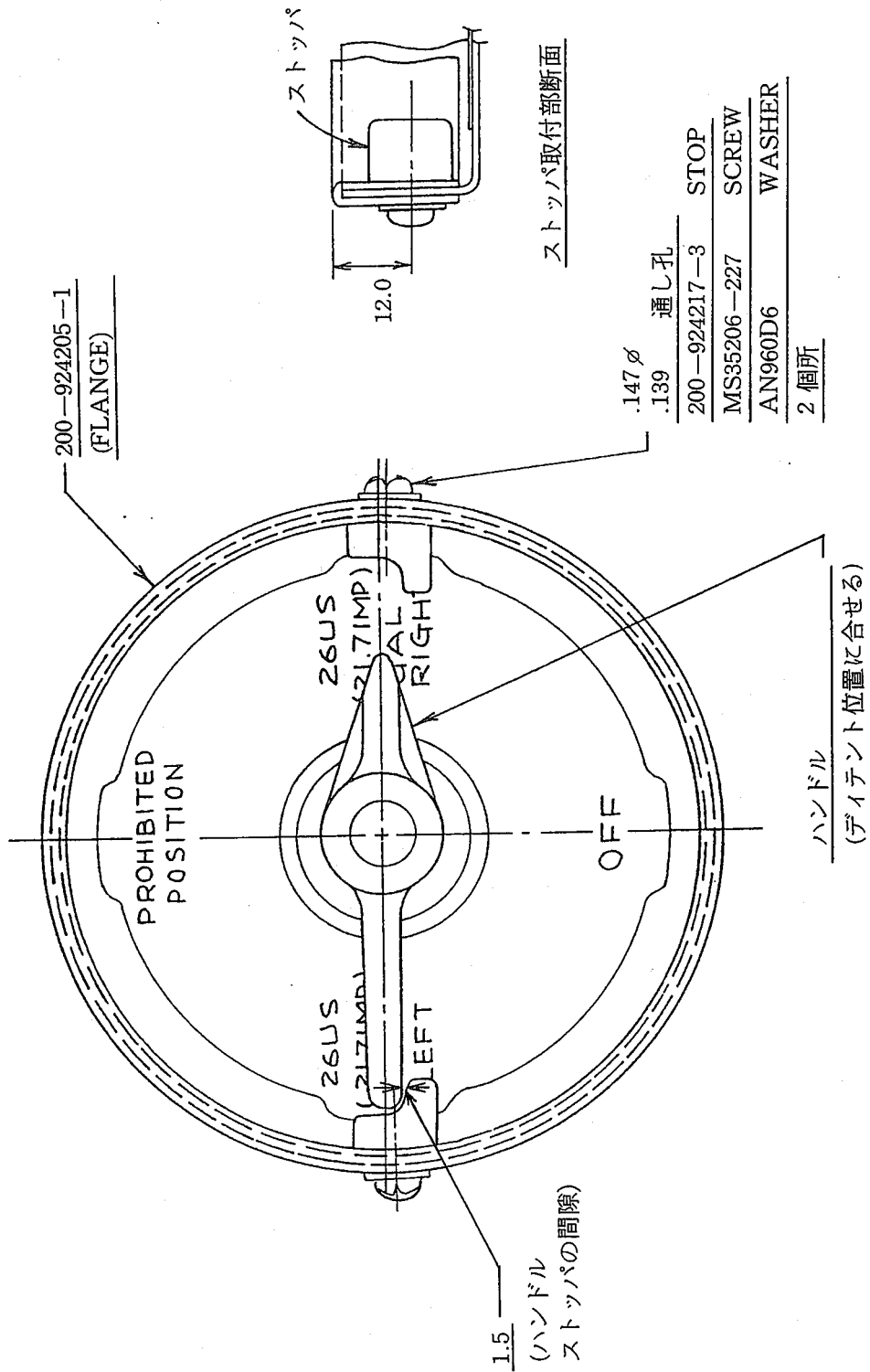


FIG. 1 ストップパ取付要領